

床用速硬化エポキシパテ

スーパーウマール

無鉛 (NTX)

「スーパーウマール」はコンクリート床のクラックや不陸を、手軽に、しかもスピーディーに補修できる、耐久性が非常に優れた補修材です。

特長

- ①目分量による計量が可能です！(主剤:硬化剤=重量比1:1)
- ②グリース状でダレにくく、大きなクラックにも安心です。
- ③速硬化タイプで、上塗りが早く塗装できます。
- ④無溶剤エポキシなので厚付けしても、ほとんど肉やせがありません。
- ⑤エポキシ樹脂が主成分で、密着性に優れています。

(社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03017
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆

用途

コンクリート・モルタル等のクラック、目地、穴、へこみなどの不陸修正に使用できます。

可使時間と上塗り可能時間

気 温		5℃	10℃	20℃	30℃
上 塗 可 能 時 間	可 使 時 間	10 分 ~ 15 分			
	水性系上塗り材	3.5 時間	2.5 時間	1.5 時間	1 時間
	無溶剤系上塗り材	3.5 時間	2.5 時間	1.5 時間	1 時間
	溶剤系上塗り材	5 時間	4 時間	2 時間	1.5 時間

内容量・荷姿

	内容量	荷 姿	性 状	配合比(重量比)
主 剤	2 kg	2ℓ 丸缶	白色ペースト状	主剤:硬化剤 1:1
硬化剤	2 kg	2ℓ 丸缶	黒色ペースト状	
セット	4 kg	ダンボール箱	混合後グレー色ペースト状	



スーパーウマール

使用方法

1. 素地調整

下地は、レイトンス・ゴミ・ほこり等を完全に取り除き、充分に乾燥させてください。

2. パテの混合

主剤（白色）と硬化剤（黒色）を、可使時間内に使いきれただけ取り出します。スーパーウマールは、二液の反応型ですので配合比（重量比）1：1で取り出してください。また、主剤と硬化剤を取り出す際のヘラはそれぞれ別の物を使用してください。

主剤と硬化剤を均一なグレー色になるまで、パテペラ等でかき混ぜてください。

3. パテ作業

ゴムペラ・パテペラ等で、クラックや段差を修正します。スーパーウマールは速硬化性のため可使時間が非常に短いので、混ぜたらすぐに使用してください。

4. 上塗り作業

スーパーウマールが硬化したら、上塗り塗料を塗装してください。なお気温が低くなると、硬化が遅くなり上塗りまでの時間は伸びます。特に、5℃以下でのご使用は避けてください。

下地との適合性

条 件	旧塗膜および下地
直接パテが塗装できる	コンクリート、#1000、#1400、#5000、#5200、#5400、#6000、#8000、#8500、エポワン、クイックアンダー、U-100NEO、プライマー全種類
サンディング処理が必要	#7000、マークレス、#8500速乾、アクアクリーンU、水性アトムエポクリーン

上塗りの適合性

上塗りにはフロアトップ全製品が使用できます。ただし、ウレタン樹脂系上塗り材（#8500速乾、#7000、マークレス、U-100NEO、U-#90、アクアクリーンU）を塗装する場合には、表面のサンディング処理が必要です。

注意事項

1. 塗装（施工）前の注意

- (1) 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- (2) 降雨・降雪・高湿・高温時及びその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- (3) 下地は、レイトンス・ゴミ・ほこり等を完全に取り除き、充分に乾燥させてください。

2. 塗装（施工）中の注意

- (1) 主剤と硬化剤は、可使時間内に使い切るだけの量を缶から取り出してください。二液の反応型ですので、配合比（重量比）1：1になる様に注意してください。
- (2) 主剤と硬化剤は均一なグレー色になるまで、パテペラ等でかき混ぜてください。充分に混合させていないと、硬化不良の原因となります。
- (3) 速硬化性のため、可使時間が非常に短いので混ぜたらすぐに使用してください。

3. 塗装（施工）後の注意

- (1) 気温が低い時、塗装面の温度が低い時は、硬化が遅れる場合があります。次の工程に入るときは、硬化状態を確認してから行ってください。
- (2) 使いかけのパテを保管する場合は、容器の蓋をきちんと閉めて置いてください。蓋が開いていると、固まって使えなくなります。
- (3) ヘラ等の用具を洗浄する場合は、合成シンナー No.6 をご使用ください。

4. 全般的注意

- (1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項及びMSDS（製品安全データシート）をよくお読みください。
- (2) 改良等の為、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (3) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- (4) 製品本体及び当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

プライマーの有効な使い方

1. 素地状態から見たプライマーの選び方

素地の状態	最適なプライマー	内容量(比率)	塗布量 (kg/m ²)	塗り面積 (m ²)	乾燥時間 23℃(時間)	可使時間 23℃(時間)	用毛洗
普通コンクリート	#800プライマー	16kgセット 主剤:硬化剤 1:1	0.15~0.2	80~100 30~40	2~3	5	合成シンナーNo.6 又はラッカーシンナー
	#800TYプライマー	12kgセット 主剤:硬化剤 1:1	0.15~0.2	60~80	2~3	5	合成シンナーNo.6 又はラッカーシンナー
	アトム水性エポプライマー	16.2kgセット 主剤:硬化剤:骨材 6:6:3.2	0.15~0.2	70~100	3~4	2	水
	エコワイドプライマー	12kgセット 主剤:硬化剤 9:3	0.15~0.2	60~80	3~8	5	合成シンナーNo.6
	プライマーU	16kg 5kg	0.15~0.2	80~100 25~30	1~2	—	合成シンナーNo.2
油で汚れたコンクリート	#500油面プライマー	20kgセット A材 10kg B材 10kg	0.4	50	(※1)	3 (※2)	合成シンナーNo.2
強化コンクリート(※3)	強化コンクリート用 プライマー	10.5kgセット 主剤:硬化剤:添加剤 6:3:1.5	0.1	105	3~4	2	合成シンナーNo.6
Pタイルの縫のあと	セブンプライマー	16kgセット 主剤:硬化剤:骨材 4:6:6	0.4	40	12	1	水洗い後 合成シンナーNo.6 又はラッカーシンナー
既設アスコンへの #1100、#1000の塗装	ASプライマー	14kg	0.1	140	1~2	—	合成シンナーNo.2
新設時の水分の高い コンクリート	ウェットオンプライマー	15kgセット 主剤:硬化剤 5:1	0.1~0.15	100~150	2~3	4	合成シンナーNo.8
水に濡れたコンクリート	ウェットガードプライマー	18kgセット 主剤:硬化剤:骨材 6:3:9(※4)	1.6	11	3	20分	合成シンナーNo.6
無機タイル、自然石 (ツルツルの表面)	タイル用プライマー	6kgセット 主剤:硬化剤 3:3	0.06~0.1	60~100	0.5~1	8	合成シンナーNo.6
U-#90・U-100NEOの 塗り替え	プライマーU	16kg 5kg	0.1 (※5)	160 50	2~3	—	合成シンナーNo.2

(※1) 上塗り可 ①液型塗料の場合: 3時間以上5時間以内 ②ワックスや油が付着している場合、十分な効果を発揮できません。
 上塗り可 ③液型塗料の場合: 3時間以上24時間以内 ④骨材は別売となります。
 (※2) 日材が沈まないようにローラーで押しながら塗布してください。 (※3) U-#90・U-100NEOの場合は合成シンナーNo.2で100%希釈してください。

2. プライマー別上塗り塗料の適否

上塗り	#800	#800TY	#500油面	U	セブン	ウェットガード	ウェットオン	強化 コンクリート用	タイル用	水性エポ	エコワイド
#1000・#1100	○	×	○※	×	○	—	×	○	○	○	○
#1400	○	○	○※	×	○	—	×	○	○	△	○
#5000・#5200・#5400	○	○	△	○	△	—	○	○	○	—	○
#6000	○	×	○	×	△	—	○	○	×	—	○
#7000	○	○	○	○	△	○	△	○	○	—	○
#7000+マークレス	○	×	○	○	△	○	×	○	○	—	○
#8000	○	○	○※	×	○	○	○	○	○	○	○
#8500	○	○	○※	×	△	○	○	○	○	—	○
#8500速乾	○	×	○	○	△	○	×	○	×	—	○
U-#90・U-100NEO	×	×	○	○	○	○	×	○	○	△	○
タフモル	○	○	○※	×	○	—	○	○	○	—	○
マークレス	×	×	○	○	×	—	×	○	○	—	○
水性アトムエポクリン	○	○	○※	×	○	○	○	○	×	○	○
エポワン	○	○	○※	×	○	○	○	○	○	○	○
クイックアンダー	○	○	○※	×	○	○	○	○	○	—	○
アクアクリンU	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

○: 上塗り可 △: 条件により上塗り可 ×: 不可 —: 仕様なし ※: A材のみ使用の場合は付着しません。
 ・上塗り塗料の適定はご使用条件にあわせてお選びください。
 ・#500油面プライマー及びセブンプライマーの上塗りに薄膜型を塗装する場合は、仕上がりにガラツキが出ます。
 ・ウェットオンプライマーに関しては当社までお問い合わせください。ウェットガードプライマーは建設粉砕のニート工法に限りません。

■一般的な注意

- (1) 製品ご使用の際は、当製品物、製品本体記載の注意事項及びMSDS(製品安全データシート)をよくお読みください。
- (2) 改修などのため、(1) 製品の途中・仕様 (2) 販売物の内容などは将来予告なしに変更する場合があります。
- (3) 性能表示に示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗料の厚の塗布条件によって増減する場合があります。
- (4) 製品本体及び当製品物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法などにつきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

フロアトップ相互付着表

上塗り 既存塗膜	#1000	#1400	#1500	#5000 #5200 #5400	#8000	#7000	#8000	#8500	#8500 速乾	U-#90 U-100 NEO	#7000 マーク レス	エポ クリン U	アクア クリン U	エポワン	#9000	クイック アンダー
フロアトップ #1000	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
フロアトップ #1400	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○
フロアトップ #1500	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○
フロアトップ #5000・#5200・ #5400	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○
フロアトップ #6000	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
フロアトップ #7000	●	●	●	□	×	○	●	●	○	□	○	●	●	○	×	●
フロアトップ #8000	△	△	△	△	△	☆	△	○	△	□	□	○	○	○	●	△
フロアトップ #8500	△	△	△	△	△	☆	△	○	○	□	□	○	○	○	●	△
フロアトップ #8500速乾	△	△	△	△	△	○	△	○	○	□	□	○	○	○	●	△
フロアトップ U-#90	×	×	×	×	×	×	×	×	×	□	□	×	×	×	×	×
フロアトップ U-100NEO	×	×	×	×	×	□	×	×	×	□	□	×	○	×	×	×
水性アトム エポクリン	○	○	○	△	○	○	△	○	○	□	○	○	○	○	×	○
アクアクリンU	○	○	○	△	△	○	○	○	○	□	○	○	○	○	×	○
エポワン	△	△	△	△	△	☆	△	○	○	□	□	○	○	○	●	△
フロアトップ #9000	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	■	×

※このデータは、既存塗膜が1ヶ月以上経過した場合のコンクリート上における各種上塗り塗料との層間付着性です。
 アスファルト上における#1000の塗り替えには、#1000を、又#8000の塗り替えには#8000を使用してください。
 この相互付着表は既存塗膜が素地と密着していることを条件としています。

- サンディング後、直接上塗り可能
- △ サンディング後、#800プライマーの塗装により上塗り可能
- サンディング後、プライマーUの塗装により上塗り可能
- ☆ サンディング後、プライマーUもしくは#800プライマーの塗装により上塗り可能
- × 付着せず、または仕様なし
- サンディング後、#500油面プライマーの塗装により上塗り可能
- サンディング後、#900プライマーの塗装により上塗り可能

- ※1 塗布時にチヂミの発生する可能性があります。
- ※2 次回の塗り替え時に溶剤型塗料を塗装するとチヂミの発生する可能性があります。
- ※3 仕上がりに#500油面プライマーの骨材の影響(ガラツキ)が出ます。
- ※4 既存塗膜の下にある塗膜が1液タイプの場合にはチヂミの発生する場合があります。
- ※5 クラックが発生する可能性があります。

(注) #7000に#800プライマーは付着しません。